

千葉県支部 見学会を開催

小春日和に恵まれた11月24日、支部恒例の秋の見学会を開催し千葉大学柏の葉キャンパス内にあるNPO法人「植物工場研究会」を訪問した。植物工場とは「高度に制御される環境で周年的に栽培・収穫ができる施設」と農水省・経産省に定義される施設である。

初めに、日本の施設園芸の現状について、この分野の先進国オランダとの比較で日本の大幅な遅れから平成21年度の国の補正予算でこの事業が発足され、運営は千葉大学とコンソーシアム企業にて行われていること、植物工場での栽培フローと通常のハウス栽培との比較、実証試験中の栽培技術、今後の研究課題等について約1時間の講義を受けた。その後、約1時間、オランダ型高軒高太陽光温室、多段密植イチゴの周年栽培、ハイドロカルチャー有機肥料循環栽培、人工光(LED)利用型植物工場、ドームハウス利用人工光型植物工場、環境制御人工光型自動化植物工場等を見学、大変有意義な見学会となった。

記 久保田 昇(40E)



左より、臼杵(一般) 山田(37C) 宮本(49S) 大竹(51C) 中島(平6A)
岸(32E) 高橋(39C) 寺本(修44W) 久保田(40E) 増田(49P)